第3学年　英語科学習指導案

1　単元（題材）名　NEW CROWN ENGLISH SERIES3　Lesson5　Places to Go, Things to Do

2　単元（題材）の目標

・間違いを恐れず、ALT との会話を続けようとする。（コミュニケーションへの関心・意欲・態度）

・関係代名詞の用法を理解し、使うことができる。（言語・文化）

・ブラジルについての説明文を読むことができる。（理解）

・ALT に日本のおすすめの場所を紹介する会話ができる。（表現）

3　単元（題材）の指導計画（全 14 時間）

第1次　単元の目標・ゴールの確認

第2次　関係代名詞の導入、活動・練習

第3次　GET Part 1本文の内容理解

第4次　GET Part 2 本文の内容理解

第5次　関係代名詞（目的格）の導入、活動・練習

第6次　GET Part 3 本文の内容理解、活動・練習

第7次　USE Read 本文の内容理解

第8次　USE Speak「おすすめの場所を紹介しよう」（5時間　本時2／5）

4　本時の計画

（1）　本時のねらい

日本のおすすめの場所を紹介する会話について、ペアやグループでの練習と相互評価を通して、表現を改善しながら、8往復程度の会話をすることができる。

（2）　本時のねらいを達成するための手立て

ア　会話を続けるために、「2文（以上）で答える・あいづちや反応・質問する」ことを意識しながら、帯活動（すらすら英会話）を継続して行う。

イ　全体で相互評価の練習を行った後、グループで相互評価を行う。

ウ　会話のチャレンジレベルを自分で選ばせる。（GOLD:ヒントなし・SILVER:少なめヒント・BRONZE:たっぷりヒント）

（3）　本時の展開

学習活動	教師の働きかけと予想される生徒の反応	◎評価　●留意点
Warm up と導入（10 分） 1 すらすら英会話（帯活動）	T1: Let's start “すらすら英会話”. S1:ペアですらすら英会話を行う。	＜手立てア＞ ●すらすら英会話シートを用いる。

2 目標・ゴールの 確認	T2&S2:ALT に日本のおすすめの場所を紹介しようという目標・ゴールの確認をする。	●単元を貫く目標と学習課題、まとめを提示する。
3 学習課題の確認 とまとめ	T3&S3:学習課題とまとめを確認する。 学習課題: 「ALT の先生に日本のおすすめの場所を紹介しよう！」 ALT の先生との会話で、特に意識したいポイントは？ まとめ ： 評価基準（ルーブリック） ①態度　・声　・アイコンタクト ②内容　・（おすすめの）場所　・ポイント2つ ③やり取り　・「2文・あいづち・質問」　・8往復程度	●学習課題とまとめについては，前時までに確認済み。
4 本時の目標の 確認	T4&S4:本時の目標を確認する。 T:You are going to introduce your recommended place to your ALT next week. So let's practice for the introduction! Today's Goal: ペアやグループでアドバイスをし合い、8往復の会話をしよう！	
展開（35分） 5 相互評価の練習 全体（10分）	T5:3つの会話例の映像を見せて、ルーブリックをもとに、相互評価の仕方の確認・練習を行う。それぞれの映像に対して、どんなアドバイスをすると良いかを確認する。 S5:（映像1:パーフェクト） 「すごい！」「これを目指そう！」 S6:（映像2:内容不十分） 「おすすめポイントの内容がうまく伝わっていない。」 「～の言い方に変えたらどうかな。」 S7:（映像3:反応不十分） 「声の大きさは良い。」「あいづちが Yes ばかり。」 「2文で答えられていない。」「～の言い方も使うといいね。」	＜手立てイ＞ ●相互評価シートを配付する。 ●評価基準（ルーブリック）に基づいて、相互評価をさせる。
6 相互評価 グループ（20分）	T6:グループ内でお互いのペアの会話を見て、相互評価をさせる。 S8:1つのペアが会話を行い、もう1つのペアはその会話を見て、相互評価を行う。 S9:改善すべき点について、グループで一緒に考え、気付いた点を伝える。必要があれば、自分の改善点について簡単なメモを取る。	＜手立てウ＞ ●会話のチャレンジレベルを自分で選ばせる。（GOLD:ヒントなし・SILVER:少なめヒント・BRONZE:たっぷりヒント）
7 練習 ペア（5分）	T7:ペア練習に戻る指示を出す。 S10:グループでの相互評価をもとに、会話の仕方や英文を改善する。 S11:もう一度ペアで、改善点を意識して会話をする。	

8 会話例の共有 全体(2分)	T8:会話例の共有を行う。 S12:代表ペアが全体の前で発表する。 S13:代表ペアの発表の、良かった点を伝える。	◎相互評価を踏まえて,8往復程度の会話をすることができる。 【自己評価・見とり】
終末(3分) 9 振り返り	T9:今日の会話練習を振り返り、自己評価をさせる。 S14:今日の振り返りを行い、次回の ALT との面談に向けて、特に意識したいポイントを書く。	●今日の活動を振り返らせる。

(4) 本時の評価

A 評価 : 相互評価を踏まえて表現を改善しながら、8往復程度の会話ができる。

B 評価 : ヒントシートを使わずに、相互評価を踏まえて表現を改善しながら、5往復程度の会話ができる。

ヒントシートを使って、相互評価を踏まえて表現を改善しながら、8往復程度の会話ができる。

〈資料〉

ワークシート